

**第7回**  
**あきる野フォトコンテスト**  
 ～この一瞬に立ち会えた感動を込めて～



あきる野市では、「第7回あきる野フォトコンテスト」を行いました。あきる野フォトコンテストは、教育委員会と市内で活動する写真愛好団体で組織するあきる野フォトコンテスト実行委員会との共催により、文化的で魅力あふれるまちづくりと地域の芸術文化を推進することを目的として、「絵画展」と隔年で開催されている事業の一つです。

今回で7回目を迎え、市内外のカメラマンから、秋川流域の風景・街並み・行事・史跡等のテーマに制作した写真プリント作品121点の応募がありました。1月15日に全応募作品を審査員の小澤太一氏（公社）日本



【一般の部】

最優秀賞

「雪の広徳寺」

沢井康正さん



【中学生以下の部】

優秀賞

「あきる野の鏡」

ハッカーソン詩音さん

さるひきこまえま  
**真照寺の猿曳駒絵馬が**  
**東京都指定文化財に!**

真照寺の猿曳駒絵馬が、3月19日付けで都指定文化財になりました。表面を一段掘下げ、明神鳥居を背に、山王権現の使いの猿が馬の指縄をひいてひざまづく図が彫られています。裏面には、この絵馬を制作・寄進した経緯が彫られており、天正17年（1589）に引田村の志村肥前守景元が村内の山王権現を再興するにあたって、17歳の次男・角蔵が制作し奉納された絵馬であることが分かります。制作当初は絵馬として寄進され、後に豊蚕を願う村民等にすりを与えるために版木として転用されました。

指定理由は、都内における現



名称：猿曳駒絵馬  
 種別：有形民俗文化財  
 大きさ：縦237mm、横167mm

裏

表



真照寺薬師堂



問合せは五日市郷土館  
 (5996-4069) 月曜  
 休館へ。市ホームページ  
 でも紹介しています。ぜひ  
 ご覧ください。



非接触型温度計・消毒機の寄附をいただきました。公益社団法人青梅法人会から、3月22日（月）に非接触型温度計・消毒機10台の寄附をいただきました。これは、税知識の普及のための「絵はがきコンクール」の記念品です。市内10校の小学校に、感染症対策として配付しました。

**アーティスト・イン・レジデンス**  
**寄贈作品の紹介**

平成5年から始まったアーティスト・イン・レジデンスは今年度で29年目を迎えました。今回は今までの招へい者の寄贈作品の中から、平成30年度の招へい者のものについてご紹介します。



守屋佑香さんの作品  
 [cell iv]



森島花さんの作品  
 [view]



アダム・ソロチンスキーさんの作品「k-in」  
 (上…部分、左…全体)

まずは、守屋佑香さんの作品を紹介します。

『日々の記憶に留まることのない出来事や感覚、感情の揺れ動き、不可視のものを自然の形から自分の形にして表現しています。あきる野で見つけた自然の植物を使い、その色で摺りました。この地で植物、色素は陽

に当たり、空気に触れることによりゆっくりと変化しますが、確かにそこにあり続け、この地で、その時を感じ取ることができます。またそれは、鑑賞者の記憶によっても変化します。』

次は、森島花さんの作品。『あきる野で目にした色、空、山、川と空気は日々変化を重ねました。自身で、自然を思う形態に紙を漉きあげ、そこに木版で何層にも色を重ねていきます。自作の和紙だからできるムラや繊維が浮かび上がり目前に広がる景色を作りだします。』

最後はポーランド出身のアダム・ソロチンスキーさんの作品。『この木版画は、浮世絵に触発されたもので、ポーランドの伝統的な服装と日本の仮面と葛平を組み合わせた衣装を着た高地に住まう人が踊っている姿です。三つの影は同じようにも見えますが、少しずつ異なっており、それと同時に、見ている人に完全性の否定や誕生のプロセスが感じられるようになっていきます。』